

第1章 区別の人口の推移

1. 区別の人口の推移

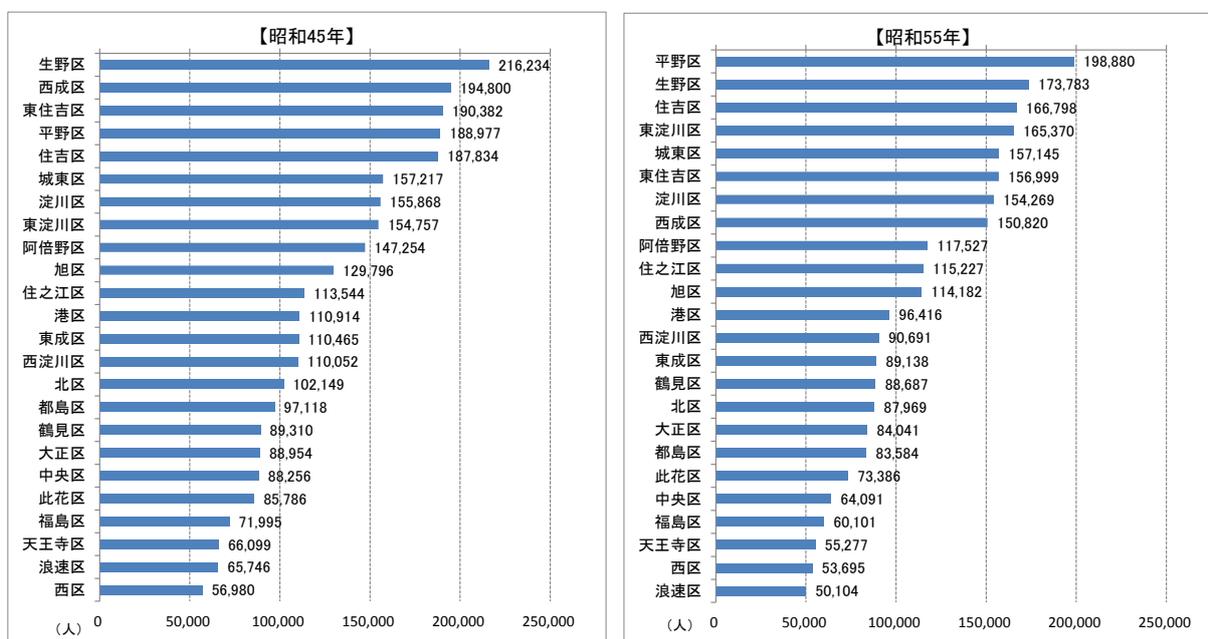
(1) 人口

国勢調査により、区別の人口の昭和45年からの推移をみると、昭和45年には生野区が21万6234人と最も人口規模の大きい区であったが、その後生野区の人口は減少が続き、平成27年には人口規模が6番目に大きい区となっている。その生野区に代わって、昭和50年に最も人口規模が大きい区となったのは平野区で、平成27年においても最も人口規模が大きい区となっている。

反対に、昭和45年に最も人口規模が小さかったのは西区であるが、その後増加が続き、平成27年には人口規模が16番目に大きい区となっている。その西区に代わって昭和55年に最も人口規模が小さくなった区は浪速区であったが、その後人口増加が続き、平成27年で最も人口規模が少ない区は、大正区となっている。

また、淀川区や東淀川区は昭和45年から15万人以上の人口規模を有しており、それぞれ人口規模は7番目、8番目に大きかった。両区はその後も増加傾向であったが、昭和45年時点で両区より人口が多かった西成区、東住吉区、生野区などの人口減少が続いたこともあり、平成27年には淀川区が2番目、東淀川区が3番目に人口規模が大きい区となっている。

図表2-1-1-1 各区の人口
(昭和45年、昭和55年、平成2年、平成12年、平成22年、平成27年)

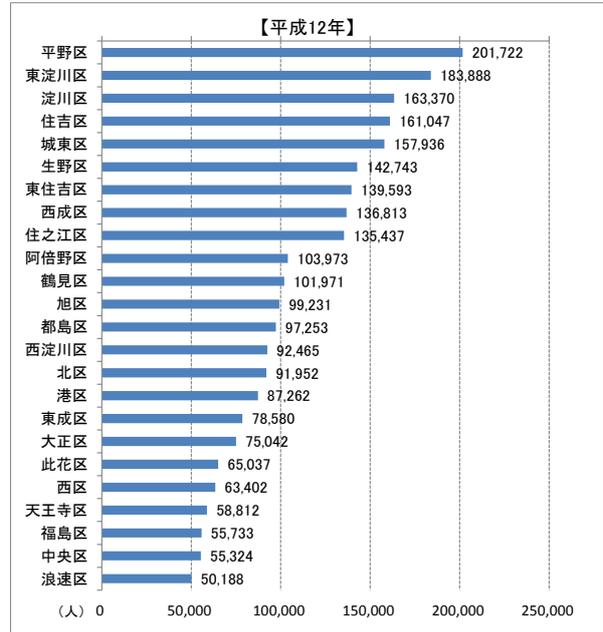


単位：人

資料：国勢調査

※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

図表 2-1-1-1 各区の人口（続）
 （昭和 45 年、昭和 55 年、平成 2 年、平成 12 年、平成 22 年、平成 27 年）



単位：人

資料：国勢調査

※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

図表 2-1-1-2 各区の人口の推移

(人)

	S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55
北 区	109,905	137,553	146,092	130,019	102,149	86,425	87,969
都 島 区	50,196	82,765	109,446	110,164	97,118	86,608	83,584
福 島 区	79,475	90,684	94,417	86,021	71,995	61,100	60,101
此 花 区	43,878	65,267	82,765	88,792	85,786	81,963	73,386
中 央 区	90,689	124,629	133,220	114,077	88,256	70,891	64,091
西 区	44,545	63,896	73,480	67,505	56,980	50,078	53,695
港 区	41,508	71,692	99,053	116,497	110,914	105,777	96,416
大 正 区	59,784	78,012	93,377	95,509	88,954	88,488	84,041
天 王 寺 区	50,970	71,549	79,405	75,006	66,099	59,561	55,277
浪 速 区	43,505	70,827	83,063	77,867	65,746	55,725	50,104
西 淀 川 区	76,519	93,953	116,728	121,246	110,052	96,586	90,691
淀 川 区	100,571	122,572	165,659	172,767	155,868	150,754	154,269
東 淀 川 区	62,554	86,190	118,210	141,339	154,757	162,242	165,370
東 成 区	116,129	132,430	138,635	128,403	110,465	95,600	89,138
生 野 区	176,200	223,180	237,237	235,172	216,234	194,552	173,783
旭 区	99,121	125,053	143,038	141,237	129,796	123,853	114,182
城 東 区	107,829	137,833	169,853	171,527	157,217	154,405	157,145
鶴 見 区	24,794	30,466	48,034	80,335	89,310	90,479	88,687
阿 倍 野 区	133,253	152,141	163,414	157,918	147,254	129,047	117,527
住 之 江 区	70,157	82,525	103,346	116,514	113,544	106,540	115,227
住 吉 区	73,348	100,135	137,524	177,078	187,834	182,059	166,798
東 住 吉 区	135,603	150,724	170,626	191,185	190,382	173,846	156,999
平 野 区	59,128	64,588	90,289	147,225	188,977	202,645	198,880
西 成 区	151,509	188,652	214,652	212,819	194,800	169,763	150,820

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
北 区	91,285	87,447	85,487	91,952	100,385	110,392	123,667
都 島 区	91,925	96,208	98,045	97,253	99,831	102,632	104,727
福 島 区	57,497	56,252	55,104	55,733	60,959	67,290	72,484
此 花 区	68,987	69,729	68,529	65,037	63,809	65,569	66,656
中 央 区	62,392	56,862	52,874	55,324	66,818	78,687	93,069
西 区	58,157	59,288	58,674	63,402	72,591	83,058	92,430
港 区	92,033	89,900	89,527	87,262	83,191	84,947	82,035
大 正 区	82,330	81,269	78,372	75,042	73,207	69,510	65,141
天 王 寺 区	55,939	55,821	55,611	58,812	64,137	69,775	75,729
浪 速 区	49,074	48,480	49,122	50,188	54,174	61,745	69,766
西 淀 川 区	92,411	95,047	91,134	92,465	95,662	97,504	95,490
淀 川 区	159,981	160,660	162,022	163,370	169,222	172,078	176,201
東 淀 川 区	170,831	180,815	185,931	183,888	178,343	176,585	175,530
東 成 区	83,897	81,380	78,736	78,580	78,929	80,231	80,563
生 野 区	162,058	155,321	149,271	142,743	138,564	134,009	130,167
旭 区	110,147	106,203	102,500	99,231	95,204	92,455	91,608
城 東 区	157,466	155,225	155,597	157,936	160,925	165,832	164,697
鶴 見 区	89,336	94,016	97,843	101,971	107,419	111,182	111,557
阿 倍 野 区	112,434	105,666	102,753	103,973	107,354	106,350	107,626
住 之 江 区	135,923	140,830	138,944	135,437	130,627	127,210	122,988
住 吉 区	162,352	161,761	162,493	161,047	158,999	155,572	154,239
東 住 吉 区	149,331	144,938	141,447	139,593	135,016	130,724	126,299
平 野 区	196,203	198,543	200,556	201,722	200,678	200,005	196,633
西 成 区	144,260	142,140	141,849	136,813	132,767	121,972	111,883

資料:国勢調査

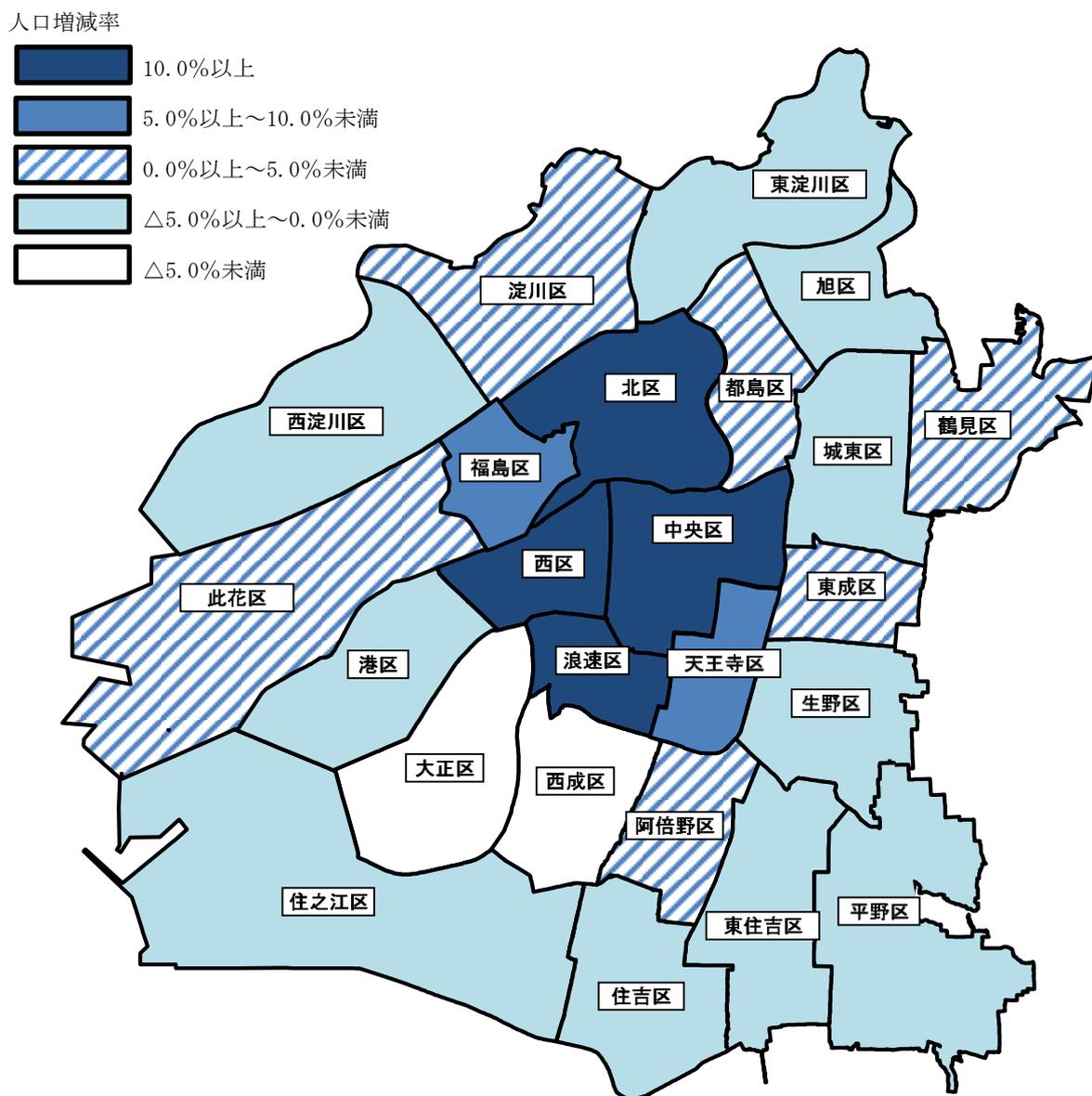
※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

(2) 平成 22 年から平成 27 年の区別の人口増減率

大阪市内各区における平成 22 年から平成 27 年までの人口増減率をみると、人口増加率の高い区は、中央区 18.3%増、浪速区 13.0%増、北区 12.0%増、西区 11.3%増などであり、10.0%以上の増加をしている。

一方、人口減少率が高い区は、西成区 8.3%減、大正区 6.3%減、港区 3.4%減、東住吉区 3.4%減、住之江区 3.3%減などとなっている。

図表 2-1-1-3
各区の人口増減率（平成 22 年～平成 27 年）



資料：国勢調査

図表 2-1-1-4 各区の対前回調査からの人口増減率

(%)

	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60
北 区	25.2	6.2	△ 11.0	△ 21.4	△ 15.4	1.8	3.8
都 島 区	64.9	32.2	0.7	△ 11.8	△ 10.8	△ 3.5	10.0
福 島 区	14.1	4.1	△ 8.9	△ 16.3	△ 15.1	△ 1.6	△ 4.3
此 花 区	48.7	26.8	7.3	△ 3.4	△ 4.5	△ 10.5	△ 6.0
中 央 区	37.4	6.9	△ 14.4	△ 22.6	△ 19.7	△ 9.6	△ 2.7
西 区	43.4	15.0	△ 8.1	△ 15.6	△ 12.1	7.2	8.3
港 区	72.7	38.2	17.6	△ 4.8	△ 4.6	△ 8.8	△ 4.5
大 正 区	30.5	19.7	2.3	△ 6.9	△ 0.5	△ 5.0	△ 2.0
天 王 寺 区	40.4	11.0	△ 5.5	△ 11.9	△ 9.9	△ 7.2	1.2
浪 速 区	62.8	17.3	△ 6.3	△ 15.6	△ 15.2	△ 10.1	△ 2.1
西 淀 川 区	22.8	24.2	3.9	△ 9.2	△ 12.2	△ 6.1	1.9
淀 川 区	21.9	35.2	4.3	△ 9.8	△ 3.3	2.3	3.7
東 淀 川 区	37.8	37.2	19.6	9.5	4.8	1.9	3.3
東 成 区	14.0	4.7	△ 7.4	△ 14.0	△ 13.5	△ 6.8	△ 5.9
生 野 区	26.7	6.3	△ 0.9	△ 8.1	△ 10.0	△ 10.7	△ 6.7
旭 区	26.2	14.4	△ 1.3	△ 8.1	△ 4.6	△ 7.8	△ 3.5
城 東 区	27.8	23.2	1.0	△ 8.3	△ 1.8	1.8	0.2
鶴 見 区	22.9	57.7	67.2	11.2	1.3	△ 2.0	0.7
阿 倍 野 区	14.2	7.4	△ 3.4	△ 6.8	△ 12.4	△ 8.9	△ 4.3
住 之 江 区	17.6	25.2	12.7	△ 2.5	△ 6.2	8.2	18.0
住 吉 区	36.5	37.3	28.8	6.1	△ 3.1	△ 8.4	△ 2.7
東 住 吉 区	11.2	13.2	12.0	△ 0.4	△ 8.7	△ 9.7	△ 4.9
平 野 区	9.2	39.8	63.1	28.4	7.2	△ 1.9	△ 1.3
西 成 区	24.5	13.8	△ 0.9	△ 8.5	△ 12.9	△ 11.2	△ 4.3

	H2	H7	H12	H17	H22	H27
北 区	△ 4.2	△ 2.2	7.6	9.2	10.0	12.0
都 島 区	4.7	1.9	△ 0.8	2.7	2.8	2.0
福 島 区	△ 2.2	△ 2.0	1.1	9.4	10.4	7.7
此 花 区	1.1	△ 1.7	△ 5.1	△ 1.9	2.8	1.7
中 央 区	△ 8.9	△ 7.0	4.6	20.8	17.8	18.3
西 区	1.9	△ 1.0	8.1	14.5	14.4	11.3
港 区	△ 2.3	△ 0.4	△ 2.5	△ 4.7	2.1	△ 3.4
大 正 区	△ 1.3	△ 3.6	△ 4.2	△ 2.4	△ 5.1	△ 6.3
天 王 寺 区	△ 0.2	△ 0.4	5.8	9.1	8.8	8.5
浪 速 区	△ 1.2	1.3	2.2	7.9	14.0	13.0
西 淀 川 区	2.9	△ 4.1	1.5	3.5	1.9	△ 2.1
淀 川 区	0.4	0.8	0.8	3.6	1.7	2.4
東 淀 川 区	5.8	2.8	△ 1.1	△ 3.0	△ 1.0	△ 0.6
東 成 区	△ 3.0	△ 3.2	△ 0.2	0.4	1.6	0.4
生 野 区	△ 4.2	△ 3.9	△ 4.4	△ 2.9	△ 3.3	△ 2.9
旭 区	△ 3.6	△ 3.5	△ 3.2	△ 4.1	△ 2.9	△ 0.9
城 東 区	△ 1.4	0.2	1.5	1.9	3.0	△ 0.7
鶴 見 区	5.2	4.1	4.2	5.3	3.5	0.3
阿 倍 野 区	△ 6.0	△ 2.8	1.2	3.3	△ 0.9	1.2
住 之 江 区	3.6	△ 1.3	△ 2.5	△ 3.6	△ 2.6	△ 3.3
住 吉 区	△ 0.4	0.5	△ 0.9	△ 1.3	△ 2.2	△ 0.9
東 住 吉 区	△ 2.9	△ 2.4	△ 1.3	△ 3.3	△ 3.2	△ 3.4
平 野 区	1.2	1.0	0.6	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.7
西 成 区	△ 1.5	△ 0.2	△ 3.6	△ 3.0	△ 8.1	△ 8.3

資料:国勢調査

※上記の人口は、現在の区域で再集計した数値である。

【参考】区の区域の推移

(平方キロメートル)

区名	明治22年 4月1日	明治30年 4月1日	大正14年 4月1日	昭和7年 10月1日	昭和18年 10月1日	昭和30年 4月3日	昭和49年 7月22日	平成元年 2月13日	平成30年 10月1日
	市制施行	東成・西成 両郡の28町 村編入	東成・西成 両郡の残り 編入	大正・旭区 設置	全面的行政 区画の変更	茨田・巽・加 美・長吉・瓜 破・矢田の6 町村編入	行政区画の 変更	北・大淀区 を北区、東・ 南区を中央 区として合 区	
北区	-	-	-	-	-	-	-	10.33	10.34
旧北区	4.47	11.72	8.60	8.81	6.04	5.58	5.54	-	-
旧大淀区	-	-	-	-	4.93	4.47	4.51	-	-
都島区	-	-	-	-	5.86	5.86	5.86	6.05	6.08
福島区	-	-	-	-	4.55	4.68	4.68	4.67	4.67
此花区	-	-	10.00	11.25	10.62	10.43	10.96	15.31	19.25
中央区	-	-	-	-	-	-	-	8.88	8.87
旧東区	4.63	7.09	6.66	6.49	5.83	5.92	5.92	-	-
旧南区	2.31	9.25	2.90	2.73	2.80	2.96	2.96	-	-
西区	3.86	27.61	4.27	4.26	5.00	5.27	5.27	5.20	5.21
港区	-	-	17.59	9.32	7.85	8.26	8.26	7.90	7.86
大正区	-	-	-	9.17	9.17	9.10	9.10	9.13	9.43
天王寺区	-	-	4.27	4.40	4.64	4.67	4.68	4.80	4.84
浪速区	-	-	3.73	3.79	4.24	3.83	3.83	4.37	4.39
西淀川区	-	-	16.94	21.27	14.07	11.16	11.16	14.23	14.22
淀川区	-	-	-	-	-	-	12.71	12.64	12.64
東淀川区	-	-	24.55	29.03	25.93	26.10	13.15	13.26	13.27
東成区	-	-	29.79	10.98	4.65	4.51	4.51	4.55	4.54
生野区	-	-	-	-	5.61	8.10	8.24	8.38	8.37
旭区	-	-	-	18.62	6.45	6.07	6.11	6.30	6.32
城東区	-	-	-	-	11.95	16.58	8.47	8.42	8.38
鶴見区	-	-	-	-	-	-	8.10	8.16	8.17
阿倍野区	-	-	-	-	5.87	5.98	6.06	5.99	5.98
住之江区	-	-	-	-	-	-	14.42	20.06	20.69
住吉区	-	-	34.19	39.94	21.48	19.99	9.16	9.34	9.40
東住吉区	-	-	-	-	12.49	25.37	9.68	9.75	9.75
平野区	-	-	-	-	-	-	15.34	15.30	15.28
西成区	-	-	7.20	7.08	7.41	7.42	7.42	7.35	7.37
大阪市全体	4区	4区	13区	15区	22区	22区	26区	24区	24区
	15.27	55.67	181.68	187.14	187.44	202.31	206.10	220.37	225.30

資料：区政概要、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

※大正14年以降は「陸軍参謀本部実測図(2万分の1)を基に算出したもので、各区の面積には新淀川を含まないため、合計と一致しない。

※昭和30年以降は国土地理院発表による。

※平成元年及び平成30年の淀川区の面積は、豊中市との合計値として発表されているため、昭和62年の当該区市の面積比で案分した数値を用いた。

2. 区別の人口構造

(1) 年齢3区分別人口割合

各区における年少人口割合をみると、鶴見区が15.7%と最も高く、天王寺区13.0%、西淀川区13.0%と続く。

老年人口割合をみると、西成区が38.7%と最も高く、生野区31.4%、大正区30.1%、旭区29.4%と続く。老年人口割合の高い区は、市の南東部に比較的集中している。

生産年齢人口割合をみると、中央区が74.9%と最も高く、浪速区73.6%、西区72.6%、北区71.9%、福島区68.1%と続く。生産年齢人口割合の高い区は、市の中心部に集中している。

図表2-1-2-1

各区の年少人口割合・生産年齢人口割合・老年人口割合（平成27年）

(%)						
順位		15歳未満 人口割合		15～64歳 人口割合		65歳以上 人口割合
1	鶴見区	15.7	中央区	74.9	西成区	38.7
2	天王寺区	13.0	浪速区	73.6	生野区	31.4
3	西淀川区	13.0	西区	72.6	大正区	30.1
4	阿倍野区	12.5	北区	71.9	旭区	29.4
5	城東区	12.5	福島区	68.1	東住吉区	29.2
6	平野区	12.5	天王寺区	67.1	住之江区	28.4
7	此花区	12.0	淀川区	66.6	平野区	27.6
8	住吉区	11.9	東淀川区	65.4	住吉区	27.2
9	福島区	11.9	都島区	64.8	港区	27.1
10	都島区	11.6	東成区	63.2	此花区	26.2
11	東住吉区	11.4	鶴見区	62.5	東成区	25.7
12	西区	11.3	西淀川区	62.5	阿倍野区	25.5
13	大正区	11.2	城東区	62.4	城東区	25.1
14	東成区	11.1	阿倍野区	62.0	西淀川区	24.5
15	住之江区	11.1	港区	61.9	東淀川区	23.9
16	港区	11.0	此花区	61.8	都島区	23.6
17	東淀川区	10.6	住吉区	60.9	淀川区	23.0
18	旭区	10.4	住之江区	60.5	鶴見区	21.8
19	淀川区	10.4	旭区	60.2	福島区	20.0
20	生野区	9.3	平野区	60.0	天王寺区	19.8
21	北区	8.9	東住吉区	59.4	浪速区	19.4
22	中央区	8.6	生野区	59.3	北区	19.2
23	西成区	7.3	大正区	58.7	中央区	16.5
24	浪速区	7.0	西成区	54.1	西区	16.1

資料：国勢調査

(2) 年齢構成指数

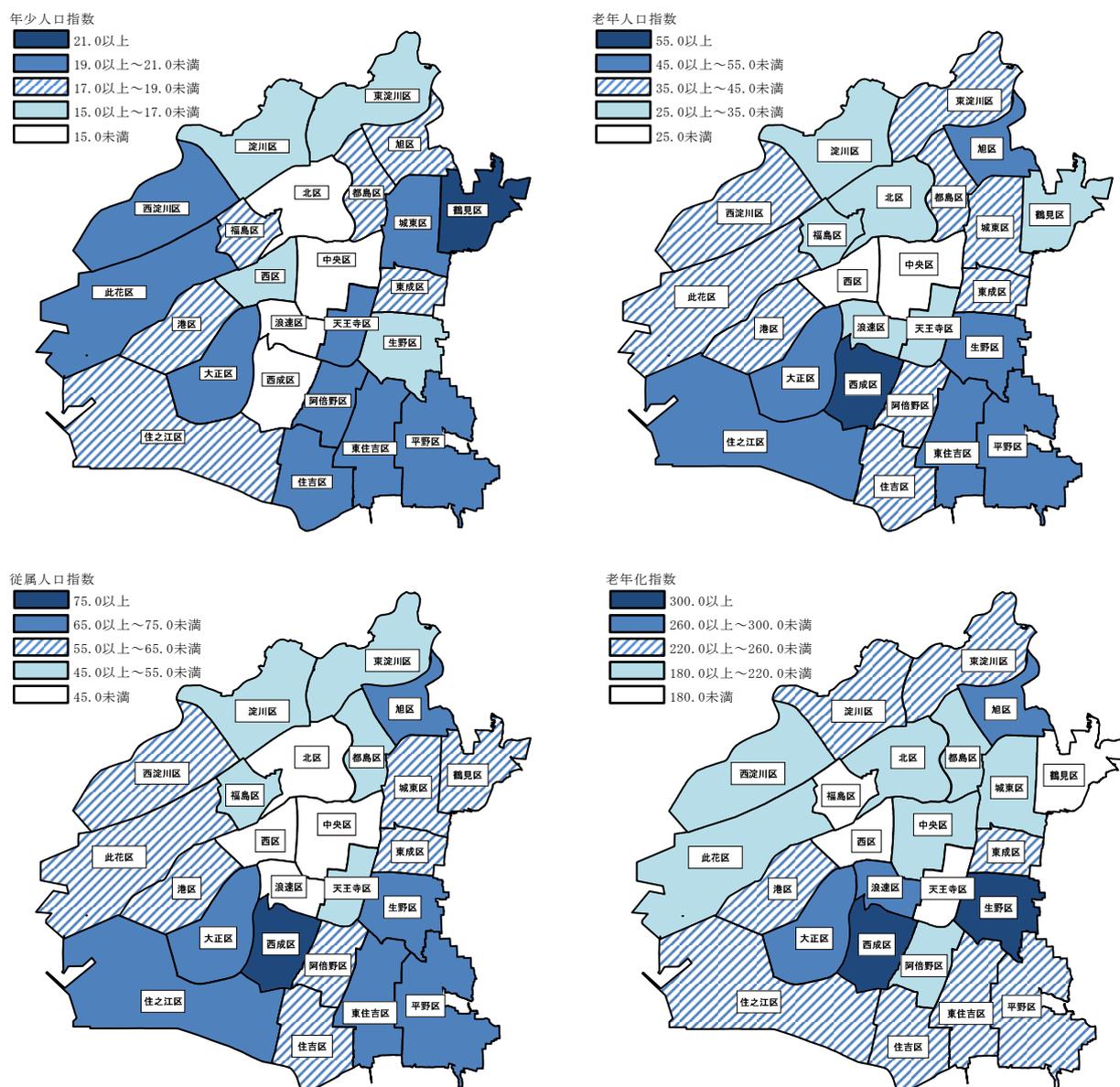
年少人口指数は、市内周縁部が高く、特に指数の高い区は、鶴見区 25.1、平野区 20.8 となっている。年少人口指数の低い区は、市中心部に多く、浪速区 9.6、中央区 11.4、北区 12.4、西成区 13.4 となっている。

老年人口指数は、市南東部に高い区が多く、西成区 71.5、生野区 52.9、大正区 51.2、東住吉区 49.1、旭区 48.9 となっている。逆に老年人口指数の低い区は、中央区 22.1、西区 22.1、浪速区 26.3、北区 26.7 で、市の中心部に集中している。

従属人口指数では、西成区 84.9、大正区 70.4、生野区 68.5、東住吉区 68.3 と市南東部が高く、中央区 33.5、浪速区 35.9、西区 37.7、北区 39.1 と市中心部に低い区が集中している。

老年化指数は、西成区 532.8、生野区 339.0、旭区 281.9 が高く、鶴見区 139.2、西区 141.9、天王寺区 152.6 などが低い指数となっている。

図表 2-1-2-2 年齢指数の各区比較 (平成 27 年)



資料：国勢調査

図表 2-1-2-3 年齢構成指数の各区比較(続) (平成 27 年)

順位	年少人口指数		老年人口指数		従属人口指数		老年化指数	
	区名	指数	区名	指数	区名	指数	区名	指数
1	鶴見区	25.1	西成区	71.5	西成区	84.9	西成区	532.8
2	平野区	20.8	生野区	52.9	大正区	70.4	生野区	339.0
3	西淀川区	20.7	大正区	51.2	生野区	68.5	旭区	281.9
4	阿倍野区	20.2	東住吉区	49.1	東住吉区	68.3	浪速区	275.1
5	城東区	20.0	旭区	48.9	平野区	66.7	大正区	268.1
6	住吉区	19.6	住之江区	47.0	旭区	66.2	住之江区	255.9
7	天王寺区	19.4	平野区	45.9	住之江区	65.3	東住吉区	255.0
8	此花区	19.3	住吉区	44.6	住吉区	64.2	港区	246.5
9	東住吉区	19.2	港区	43.7	此花区	61.7	東成区	231.3
10	大正区	19.1	此花区	42.3	港区	61.5	住吉区	227.4
11	住之江区	18.4	阿倍野区	41.2	阿倍野区	61.4	東淀川区	225.3
12	都島区	17.9	東成区	40.7	城東区	60.4	平野区	220.8
13	港区	17.7	城東区	40.3	西淀川区	60.0	淀川区	220.3
14	東成区	17.6	西淀川区	39.2	鶴見区	59.9	此花区	219.0
15	福島区	17.5	東淀川区	36.6	東成区	58.3	北区	216.2
16	旭区	17.3	都島区	36.5	都島区	54.4	阿倍野区	204.1
17	東淀川区	16.2	鶴見区	34.9	東淀川区	52.8	都島区	204.0
18	淀川区	15.7	淀川区	34.5	淀川区	50.2	城東区	201.2
19	生野区	15.6	天王寺区	29.6	天王寺区	48.9	中央区	193.3
20	西区	15.6	福島区	29.3	福島区	46.8	西淀川区	189.1
21	西成区	13.4	北区	26.7	北区	39.1	福島区	167.4
22	北区	12.4	浪速区	26.3	西区	37.7	天王寺区	152.6
23	中央区	11.4	西区	22.1	浪速区	35.9	西区	141.9
24	浪速区	9.6	中央区	22.1	中央区	33.5	鶴見区	139.2

資料：国勢調査

※年齢構成指数：人口の構造を知る指標

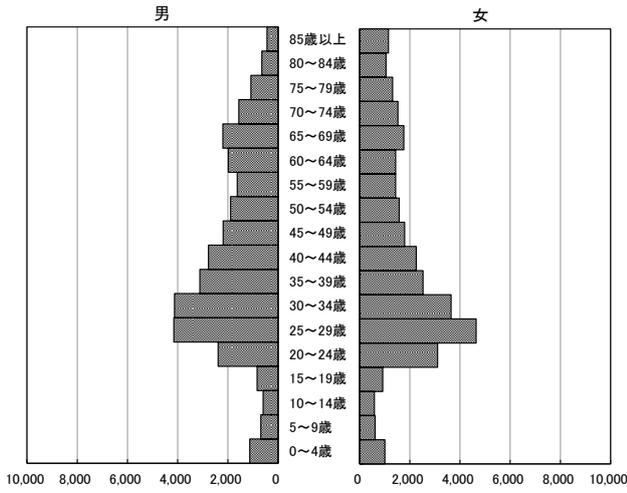
- ・年少人口指数：生産年齢人口に対する年少人口の比率
- ・老年人口指数：生産年齢人口に対する老年人口の比率
- ・従属人口指数：年少人口(0～14歳)と老年人口(65歳以上)の合計の生産年齢人口(15～64歳)に対する比率
- ・老年化指数：年少人口に対する老年人口の比率

(3) 男女別年齢5歳階級別人口

平成 27 年時点の年齢構成指数に特徴のある区を抽出し、男女別年齢 5 歳階級別人口（人口ピラミッド）でみることにし、ここでは「浪速区」（「従属人口指数」低・「老年化指数」高）、「西区」（「従属人口指数」低・「老年化指数」低）、「西成区」（「従属人口指数」高・「老年化指数」高）、「平野区」（「従属人口指数」高・「老年化指数」低）の 4 区を抽出することとする。

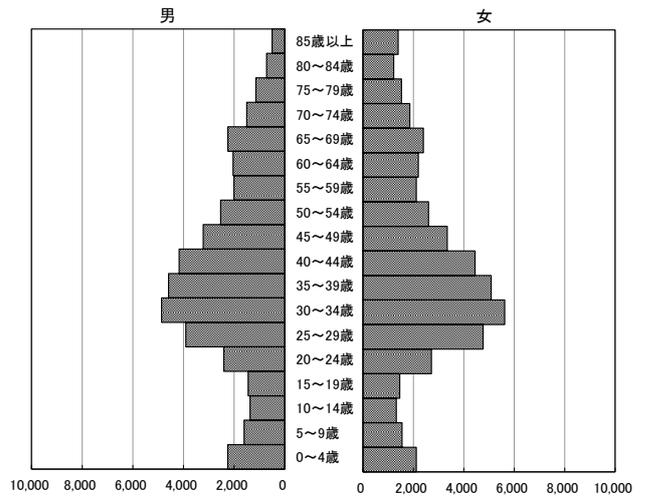
このうち、浪速区では 25 歳～34 歳付近、西区では 30 歳～39 歳付近、平野区では 40 歳～54 歳付近と 65 歳～79 歳付近に山があるが、西成区が特に特徴的であり、「男」の 65 歳～74 歳が突出して多い。「女」に関してもこの付近の年齢の人口が多く、他の 3 区とは大きく異なる形状となっている。

図表 2-1-2-4 各区の男女別年齢5歳階級別人口（平成 27 年）



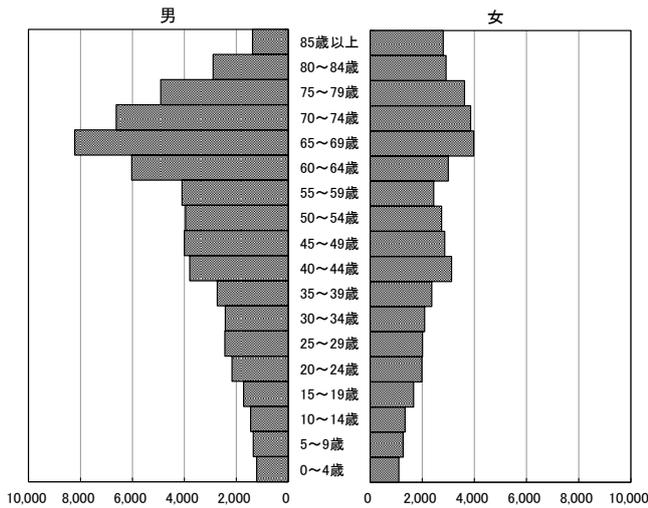
【浪速区】

（「従属人口指数」低・「老年化指数」高）



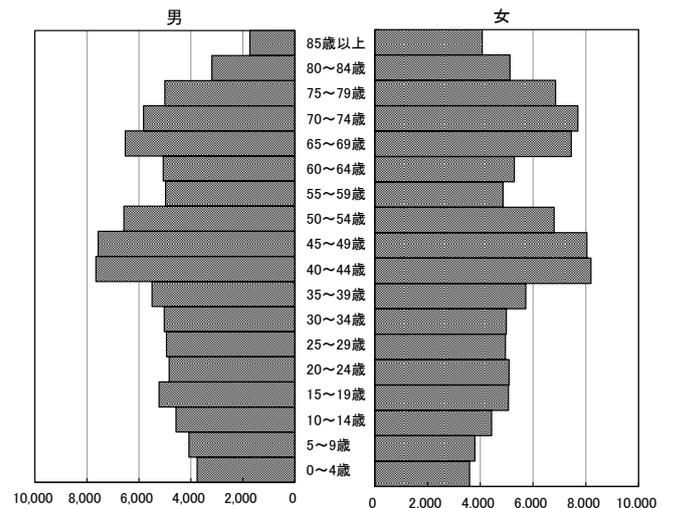
【西区】

（「従属人口指数」低・「老年化指数」低）



【西成区】

（「従属人口指数」高・「老年化指数」高）



【平野区】

（「従属人口指数」高・「老年化指数」低）

資料：国勢調査

(4) 将来推計人口（男女別年齢5歳階級別）

ここでは、2015年（平成27年）時点の年齢構成指数に特徴のある区を抽出し、国立社会保障・人口問題研究所における2030年時点の男女別年齢別5歳階級別推計人口をみる。抽出した区は前項と同じく「浪速区」、「西区」、「西成区」、「平野区」の4区である。

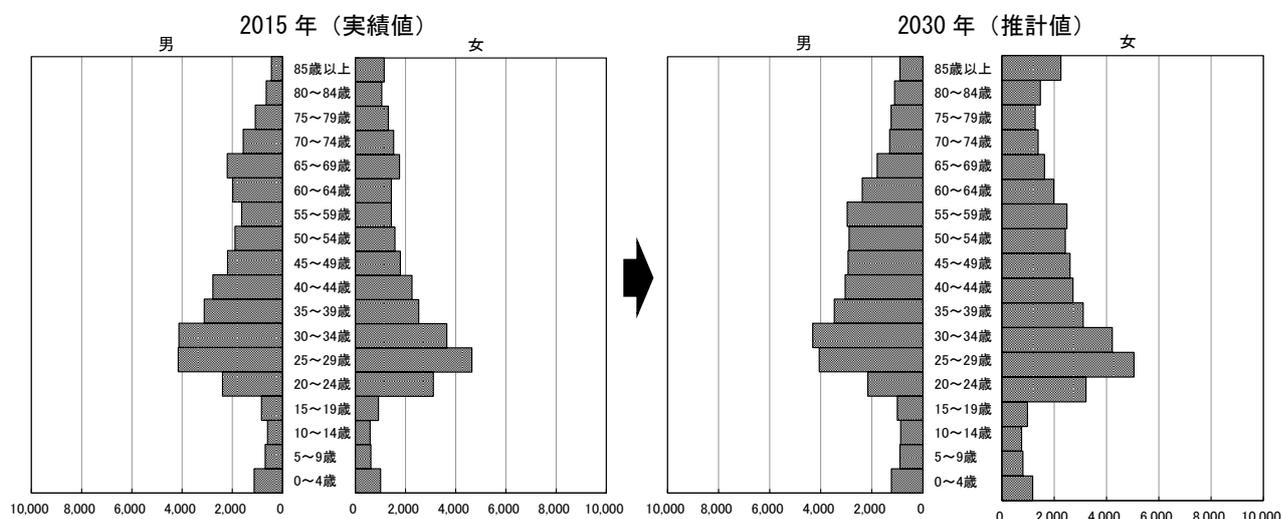
浪速区は、2015年では「25～29歳」付近と「30～34歳」付近に山があったが、2030年も同様の人口構成になると推計されている。

西区は、2015年では「30～39歳」付近に山があったが、2030年には「40～49歳」付近が多い人口構成になると推計されている。

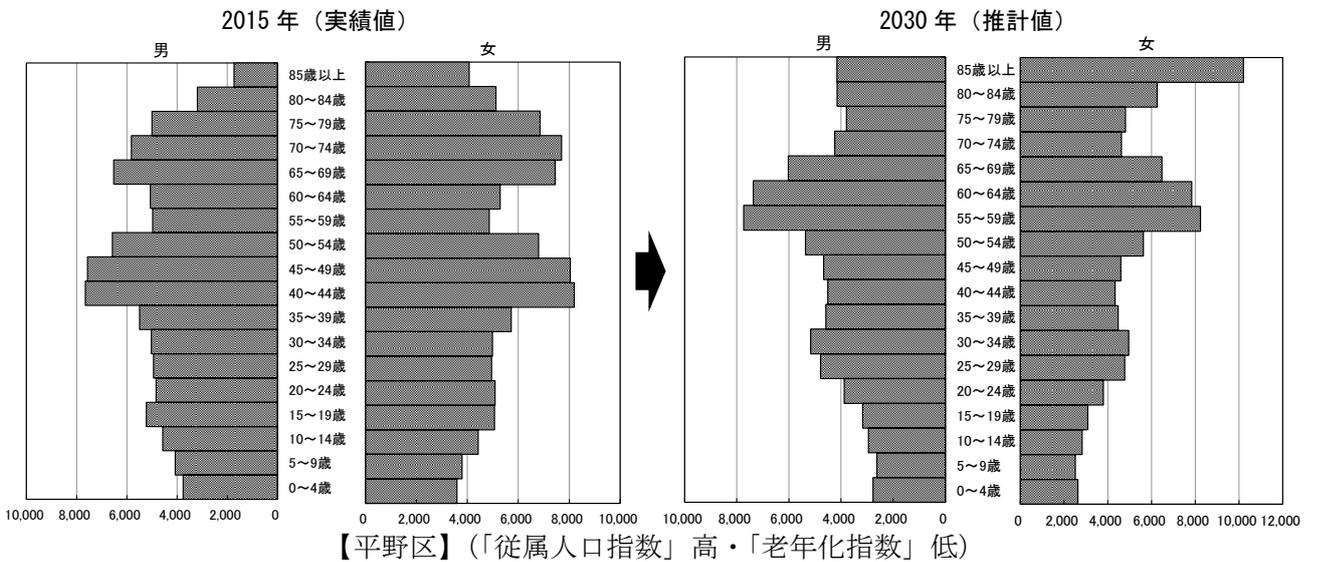
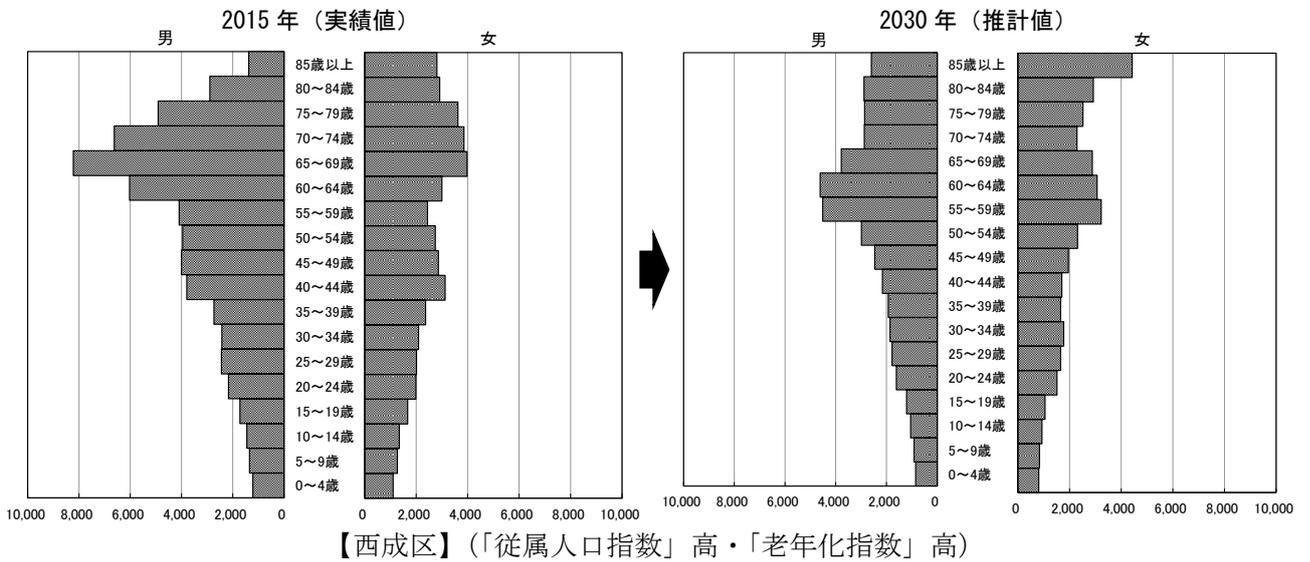
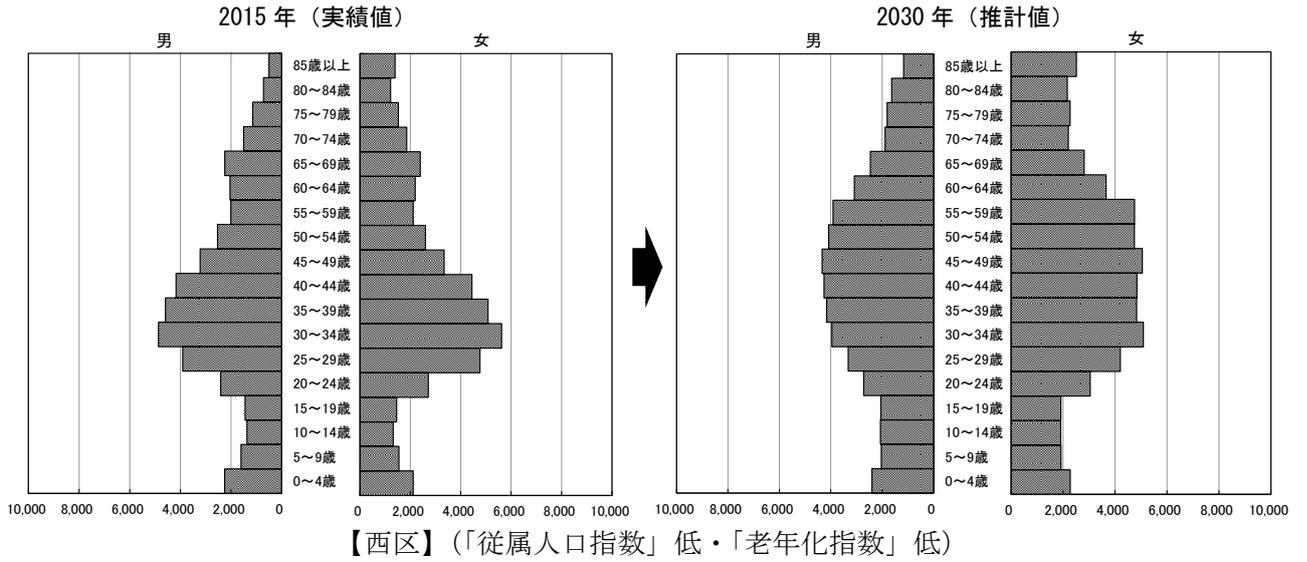
西成区は、市内各区の中でも特徴的な人口構成であるが、2015年では65歳～74歳あたりに山がある。2030年には60歳前後に多少の山があるものの、全体的に人口は縮小傾向になると推計されている。

平野区では、2015年では40歳代及び65歳～74歳付近に山があったが、2030年には60歳前後と「女」の85歳以上が多い人口構成になると推計されている。高齢者が多い人口構成ではあるが、2015年時点で20歳前後も多い構成であったため、30歳前後にも小さな山が表れている。

図表2-1-2-5
各区の将来推計人口（2030年時点）



【浪速区】（「従属人口指数」低・「老年化指数」高）



資料：（実績値）国勢調査、（推計値）国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年3月推計）

3. 区別の自然動態

(1) 出生率の推移

各区における出生率の推移をみると、昭和50年では阿倍野区を除く23区で10.0人を超える出生率となっており、大正区が18.0人と最も高く、東淀川区17.5人、港区17.4人、此花区17.3人と続いている。

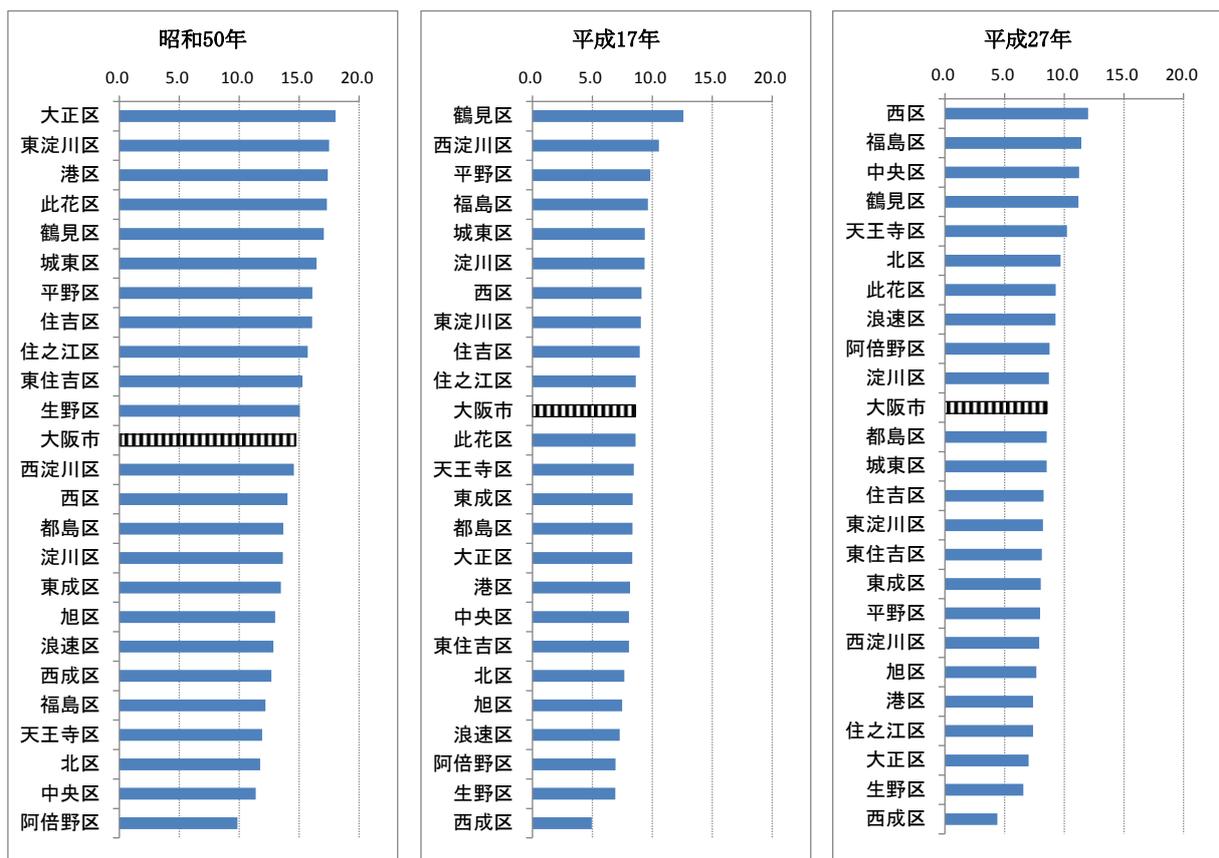
平成17年には10.0人を超える区は24区中2区のみとなり、鶴見区の12.6人が最も高く、次いで西淀川区10.5人、平野区9.8人と続く。

平成27年では、西区12.0人、福島区11.4人、中央区11.2人、鶴見区11.2人、天王寺区10.2人の5区が10.0人を超える出生率となっている。

昭和50年当時は大正区、東淀川区などの市内周縁部の区で出生率が高くなっていたが、平成27年では西区、福島区、中央区などの市内中心部の区で出生率が高くなっている。

※出生率は当年10月1日現在人口1,000人に対する比率である。

図表2-1-3-1
区別の出生率（昭和50年、平成17年、平成27年） (人)



資料：大阪市都市計画局

図表 2-1-3-2
 区別の出生率の推移（昭和 50 年～平成 27 年）

(人)

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
大阪市	14.7	11.5	11.2	10.0	9.8	9.6	8.6	8.9	8.5
北区	11.7	11.3	10.8	8.6	7.5	8.0	7.7	8.6	9.7
都島区	13.7	12.2	13.1	10.6	10.3	8.7	8.4	8.5	8.5
福島区	12.2	11.5	10.5	9.3	9.3	9.3	9.6	11.0	11.4
此花区	17.3	12.5	11.8	11.1	10.1	9.6	8.6	8.9	9.3
中央区	11.4	9.5	9.5	7.6	6.8	7.4	8.1	10.1	11.2
西区	14.0	13.1	13.4	10.2	8.5	10.3	9.1	11.1	12.0
港区	17.4	11.5	11.0	9.2	10.1	9.4	8.1	8.9	7.4
大正区	18.0	13.1	11.6	9.4	9.6	8.3	8.3	8.1	7.0
天王寺区	11.9	9.8	11.0	9.2	8.5	8.1	8.5	9.7	10.2
浪速区	12.8	10.8	10.6	8.5	8.6	8.0	7.3	7.8	9.3
西淀川区	14.6	11.2	11.0	10.7	9.8	11.4	10.5	9.8	7.9
淀川区	13.6	13.1	11.9	10.3	8.9	9.2	9.4	8.8	8.7
東淀川区	17.5	13.5	14.1	12.4	12.2	10.8	9.0	9.7	8.2
東成区	13.5	10.7	10.2	8.8	8.7	9.7	8.4	8.6	8.0
生野区	15.1	10.6	10.1	9.4	9.1	8.4	6.9	7.3	6.6
旭区	13.0	10.7	10.3	9.2	8.4	8.7	7.5	8.1	7.7
城東区	16.5	12.0	11.6	10.2	10.0	10.4	9.4	9.7	8.5
鶴見区	17.1	12.6	12.4	12.2	12.5	13.8	12.6	12.0	11.2
阿倍野区	9.9	9.3	8.6	7.3	7.2	7.6	6.9	7.4	8.8
住之江区	15.7	15.3	15.5	12.6	11.1	9.7	8.6	8.5	7.4
住吉区	16.1	12.5	11.6	10.6	11.1	10.3	9.0	8.7	8.3
東住吉区	15.3	10.1	9.5	9.3	9.3	9.5	8.1	8.0	8.1
平野区	16.1	11.1	10.6	12.0	12.7	12.6	9.8	9.4	8.0
西成区	12.7	9.0	8.0	6.7	6.1	5.5	4.9	4.9	4.4

資料:大阪市都市計画局

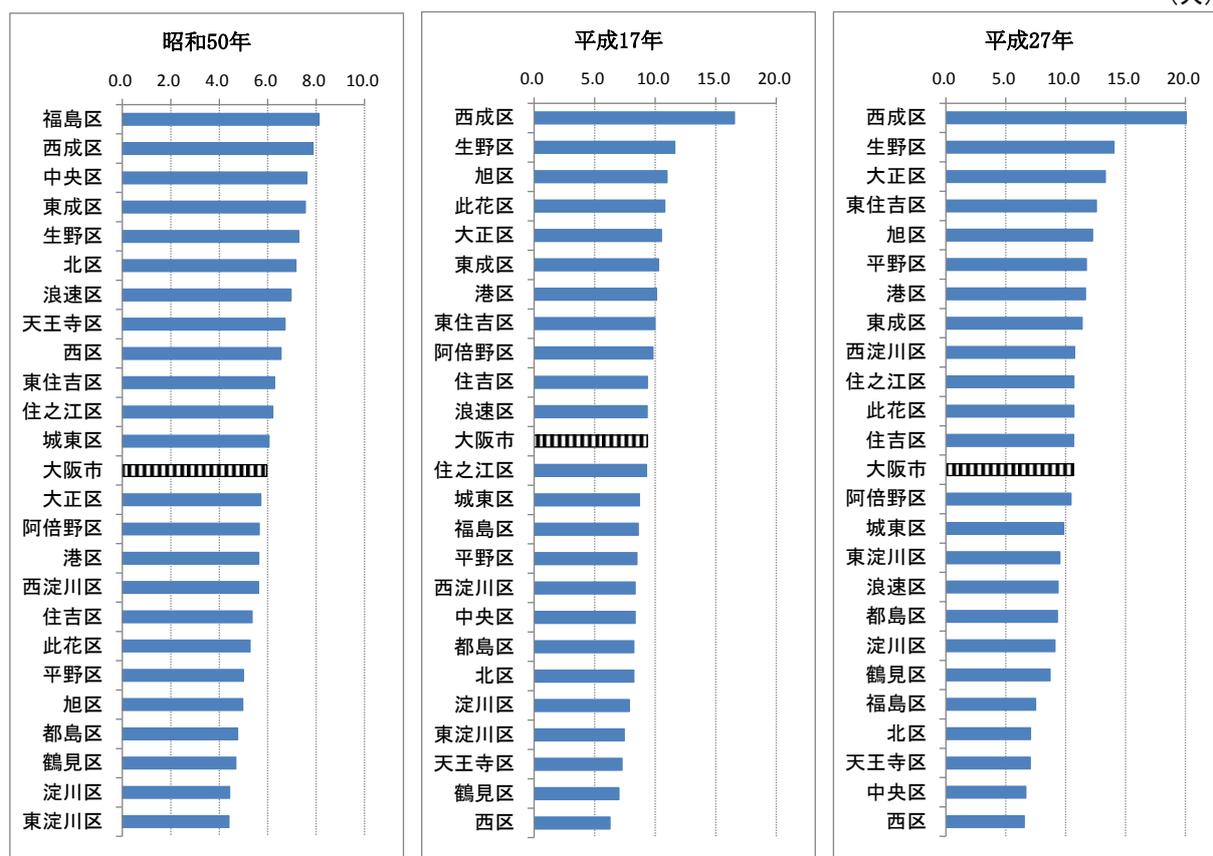
(2) 死亡率の推移

各区における死亡率の推移をみると、昭和 50 年では、福島区が 8.1 人と最も死亡率が高く、続いて西成区 7.9 人、中央区、東成区 7.6 人となっている。平成 17 年では西成区が 16.5 人で最も高くなり、生野区 11.6 人、旭区 11.0 人と続いている。平成 27 年になると西成区が 23.3 人と突出して死亡率が高くなっており、2 番目に高い生野区が 14.0 人、大正区が 13.3 人などと続いている。

昭和 50 年では福島区が最も死亡率が高いが、死亡率の高い区を他にみると、市内中心部の区が他区と比べて死亡率が高くなっている。平成 17 年では西成区が最も死亡率の高い区となっており、平成 27 年ではさらに死亡率が高くなっている。また、平成 27 年においては、市内中心部の区の死亡率が他区と比べて低くなっており、昭和 50 年と比較すると対照的になっている。

※死亡率は当年 10 月 1 日現在人口 1,000 人に対する比率である。

図表 2-1-3-3 区別の死亡率（昭和50年、平成17年、平成27年） (人)



資料：大阪市都市計画局

図表 2-1-3-4 区別の死亡率の推移

(人)

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
大阪市	6.0	6.8	7.2	7.6	8.3	8.5	9.3	10.1	10.7
北区	7.2	8.3	7.9	7.9	8.7	8.3	8.2	8.0	7.1
都島区	4.8	6.6	6.7	6.2	7.0	7.1	8.2	8.9	9.3
福島区	8.1	8.1	8.9	9.2	8.8	8.3	8.6	8.4	7.5
此花区	5.3	6.5	7.0	7.2	8.3	8.6	10.8	11.6	10.7
中央区	7.6	8.1	8.4	8.8	9.6	8.9	8.3	7.7	6.7
西区	6.5	6.8	5.8	6.2	6.8	6.5	6.3	5.9	6.5
港区	5.6	5.9	6.4	7.4	8.2	9.4	10.1	10.1	11.7
大正区	5.7	6.5	6.4	7.2	8.2	9.1	10.5	11.0	13.3
天王寺区	6.7	7.3	6.9	7.3	7.3	7.3	7.3	7.6	7.0
浪速区	7.0	8.8	9.6	9.4	10.0	9.2	9.3	10.3	9.4
西淀川区	5.6	6.9	7.3	7.2	8.1	8.4	8.3	9.1	10.7
淀川区	4.4	6.2	6.1	6.1	7.2	7.2	7.9	8.7	9.1
東淀川区	4.4	5.2	5.9	6.1	6.8	6.9	7.4	9.4	9.5
東成区	7.6	8.3	8.6	9.5	9.9	9.5	10.3	10.5	11.4
生野区	7.3	7.6	8.3	9.1	9.7	9.9	11.6	12.7	14.0
旭区	5.0	6.8	6.9	8.3	8.6	9.2	11.0	11.8	12.2
城東区	6.1	6.1	6.6	6.8	7.9	7.8	8.7	8.7	9.8
鶴見区	4.7	5.1	5.6	5.9	6.1	6.2	7.0	8.0	8.7
阿倍野区	5.6	8.2	8.1	8.9	9.7	8.8	9.8	10.1	10.4
住之江区	6.2	6.1	6.1	6.2	6.7	7.7	9.3	9.9	10.7
住吉区	5.4	5.9	6.8	7.0	7.6	8.1	9.3	10.6	10.7
東住吉区	6.3	7.5	7.8	8.9	8.9	9.6	10.0	11.1	12.6
平野区	5.0	5.1	5.6	6.5	7.1	7.6	8.5	9.7	11.7
西成区	7.9	9.6	10.9	11.9	14.3	14.7	16.5	20.8	23.3

資料:大阪市都市計画局

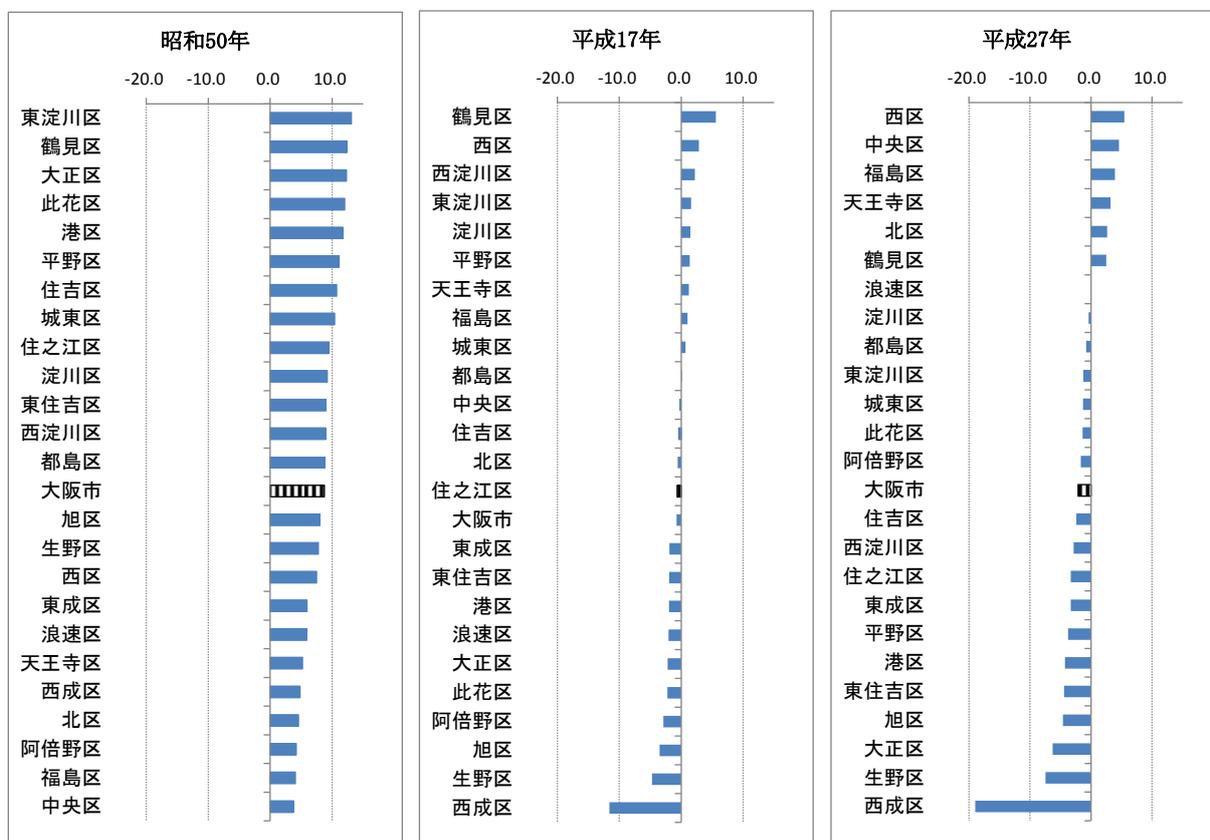
※厚生労働省の人口動態統計とは数値が異なる

(3) 自然増減率の推移

各区における自然増減率の推移をみると、昭和50年では、全ての区が自然増加となっており、東淀川区 13.1 人、続いて鶴見区 12.4 人、大正区 12.3 人などとなっている。平成17年になると、14 区で自然減少となっており、なかでも西成区が△11.6 人と突出して自然減少率が高くなっている。平成27年になると18 区で自然減少となっており、なかでも西成区が△19.0 人と突出して自然減少率が高い傾向が続いている。逆に自然増加を保っている区は、西区 5.5 人、中央区 4.6 人、福島区 3.9 人などとなっており、市内中心部で自然増加率が高い傾向にある。

※自然増減率は当年10月1日現在人口1,000人に対する比率である。

図表 2-1-3-5
 区別の自然増減率（昭和50年、平成17年、平成27年） (人)



資料：大阪市都市計画局

図表 2-1-3-6 区別の自然増減率の推移

(人)

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
大阪市	8.8	4.7	4.1	2.4	1.4	1.1	△ 0.7	△ 1.2	△ 2.1
北区	4.6	3.0	2.9	0.6	△ 1.2	△ 0.3	△ 0.6	0.6	2.6
都島区	8.9	5.6	6.4	4.3	3.3	1.6	0.1	△ 0.4	△ 0.8
福島区	4.1	3.4	1.7	0.1	0.5	0.9	1.0	2.6	3.9
此花区	12.0	6.0	4.8	3.9	1.8	1.0	△ 2.2	△ 2.7	△ 1.4
中央区	3.8	1.4	1.1	△ 1.2	△ 2.8	△ 1.4	△ 0.3	2.4	4.6
西区	7.5	6.3	7.6	4.0	1.8	3.8	2.8	5.2	5.5
港区	11.8	5.6	4.6	1.8	1.9	0.1	△ 2.0	△ 1.2	△ 4.3
大正区	12.3	6.7	5.2	2.2	1.4	△ 0.7	△ 2.2	△ 2.9	△ 6.3
天王寺区	5.2	2.5	4.2	1.8	1.2	0.8	1.2	2.0	3.2
浪速区	5.9	2.0	1.0	△ 1.0	△ 1.3	△ 1.2	△ 2.0	△ 2.5	△ 0.1
西淀川区	8.9	4.3	3.6	3.5	1.6	2.9	2.2	0.7	△ 2.8
淀川区	9.2	6.8	5.8	4.2	1.7	2.0	1.5	0.1	△ 0.4
東淀川区	13.1	8.3	8.2	6.3	5.4	3.9	1.6	0.3	△ 1.3
東成区	5.9	2.3	1.6	△ 0.7	△ 1.2	0.2	△ 1.9	△ 1.9	△ 3.3
生野区	7.8	2.9	1.8	0.3	△ 0.6	△ 1.5	△ 4.7	△ 5.5	△ 7.5
旭区	8.0	3.9	3.4	0.9	△ 0.2	△ 0.5	△ 3.5	△ 3.8	△ 4.6
城東区	10.4	5.9	5.0	3.4	2.2	2.6	0.7	1.1	△ 1.3
鶴見区	12.4	7.5	6.9	6.2	6.5	7.7	5.6	4.0	2.5
阿倍野区	4.2	1.1	0.5	△ 1.6	△ 2.5	△ 1.2	△ 2.9	△ 2.7	△ 1.7
住之江区	9.5	9.1	9.4	6.4	4.5	2.0	△ 0.7	△ 1.4	△ 3.3
住吉区	10.7	6.5	4.9	3.6	3.5	2.2	△ 0.4	△ 1.9	△ 2.4
東住吉区	9.0	2.6	1.7	0.4	0.4	△ 0.1	△ 1.9	△ 3.0	△ 4.4
平野区	11.1	6.0	5.1	5.5	5.6	5.1	1.4	△ 0.4	△ 3.8
西成区	4.8	△ 0.6	△ 2.9	△ 5.2	△ 8.2	△ 9.2	△ 11.6	△ 15.9	△ 19.0

資料:大阪市都市計画局

(4) 生涯未婚率

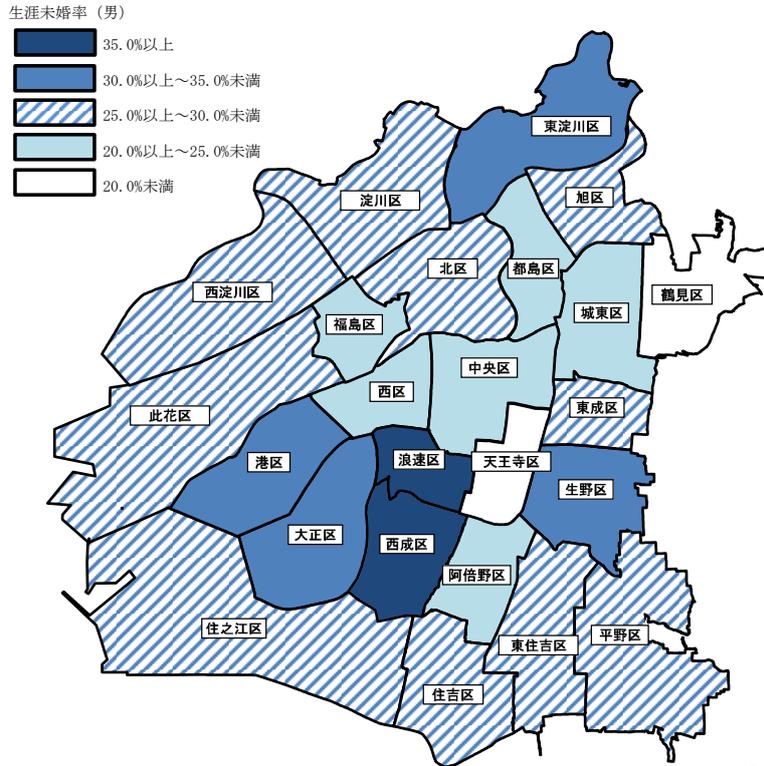
各区における平成 27 年の生涯未婚率をみると、男では、西成区が 45.9%と最も高く、浪速区 38.3%、生野区 33.9%と続く。男の生涯未婚率が高い区は、市中心部を取り巻く形となっている。

一方、女の生涯未婚率をみると、中央区が 31.1%と最も高く、浪速区 30.7%、北区 29.1%と続く。市中心部に女の生涯未婚率が高い区が多い。

中央区、西区は、男の生涯未婚率は市内平均値と概ね同様であるが、女の生涯未婚率は高い。阿倍野区、鶴見区、天王寺区では、男女とも生涯未婚率が低い。浪速区、西成区では、男女とも生涯未婚率が高いが、特に西成区については、男の生涯未婚率が突出して高い。

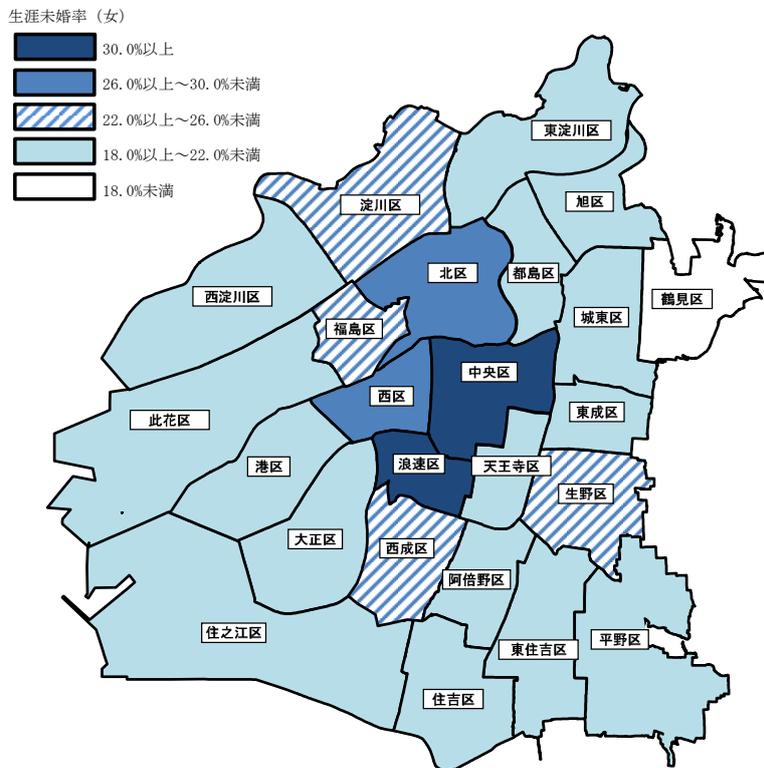
※生涯未婚率：「45～49 歳」と「50～54 歳」の未婚率の平均値から、「50 歳時」の未婚率（結婚したことがない人の割合）を算出したもの。

図表 2-1-3-7
各区の生涯未婚率（男）（平成 27 年）



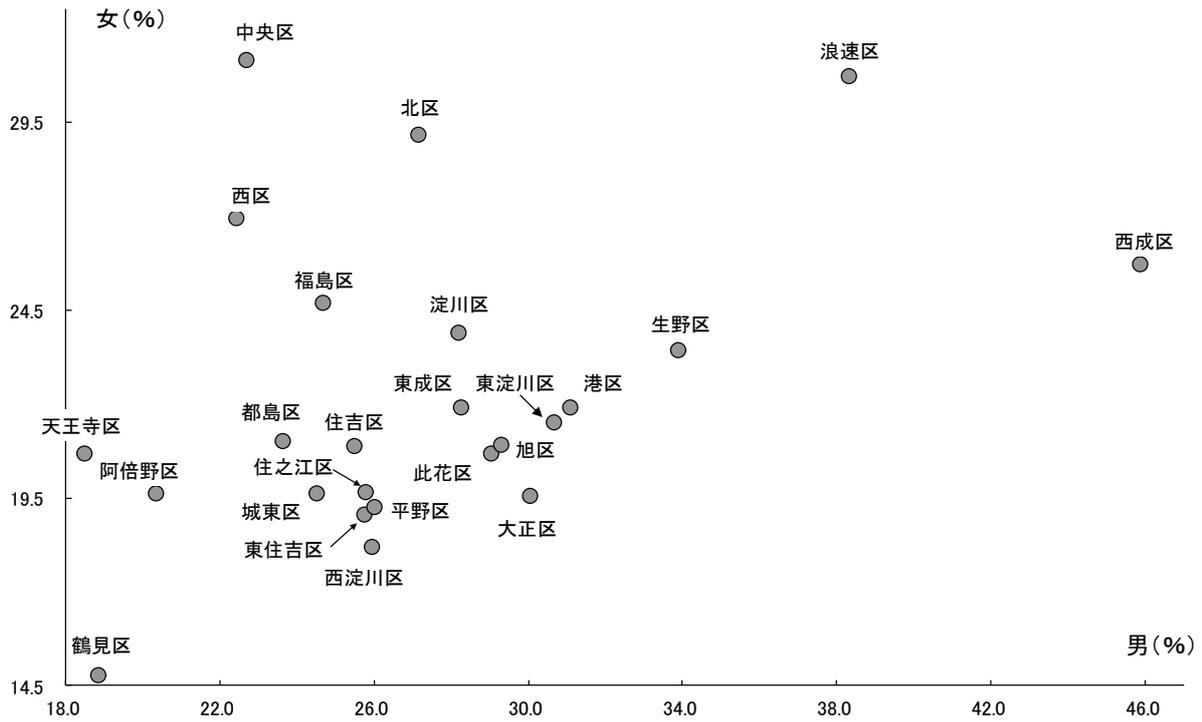
※資料：「国勢調査」

図表 2-1-3-8
各区の生涯未婚率（女）（平成 27 年）



※資料：「国勢調査」

図表 2-1-3-9 生涯未婚率の区別分布図



図表 2-1-3-10 各区の生涯未婚率（平成 27 年）単位（％）

順位	男 生涯未婚率		女 生涯未婚率	
1	西成区	45.9	中央区	31.1
2	浪速区	38.3	浪速区	30.7
3	生野区	33.9	北区	29.1
4	港区	31.1	西区	26.9
5	東淀川区	30.7	西成区	25.7
6	大正区	30.1	福島区	24.6
7	旭区	29.3	淀川区	23.9
8	此花区	29.1	生野区	23.4
9	東成区	28.3	港区	21.9
10	淀川区	28.2	東成区	21.9
11	北区	27.2	東淀川区	21.5
12	平野区	26.0	都島区	21.0
13	西淀川区	26.0	旭区	20.9
14	東住吉区	25.8	住吉区	20.8
15	住之江区	25.8	天王寺区	20.6
16	住吉区	25.5	此花区	20.6
17	福島区	24.7	東住吉区	19.6
18	城東区	24.5	城東区	19.6
19	都島区	23.7	阿倍野区	19.6
20	中央区	22.7	大正区	19.5
21	西区	22.5	平野区	19.2
22	阿倍野区	20.4	住之江区	19.0
23	鶴見区	18.9	西淀川区	18.2
24	天王寺区	18.5	鶴見区	14.8

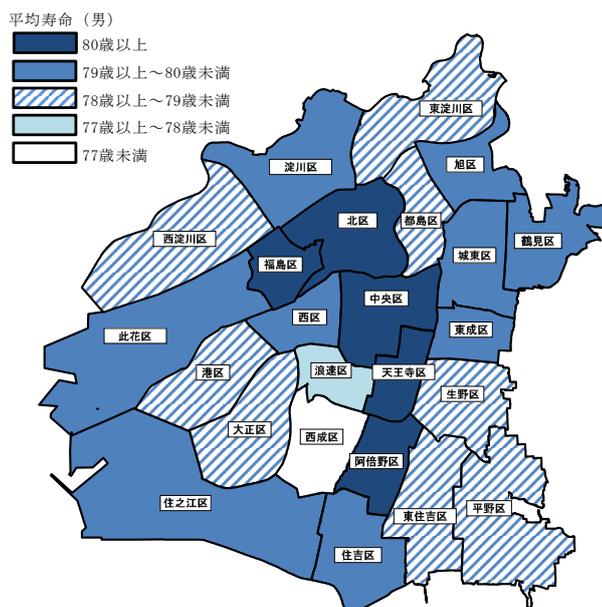
資料:国勢調査

(5) 平均寿命

各区における平成 27 年の平均寿命をみると、男では、天王寺区が 81.0 歳と最も平均寿命が長く、北区・阿倍野区・中央区 80.4 歳、福島区 80.2 歳と続く。男の平均寿命の長い区は、市中心部に多く、臨海部は市内で比較すると平均寿命が短い。

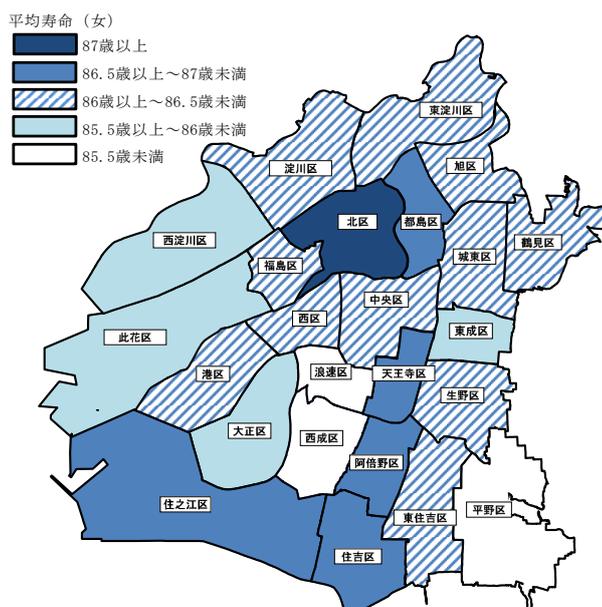
一方、女の平均寿命をみると、北区が 87.0 歳と最も長く、阿倍野区・住吉区 86.9 歳、都島区 86.8 歳と続く。臨海部は比較的 average 寿命が短い。北区、阿倍野区は、男女とも平均寿命が長く、西成区、浪速区は、男女とも平均寿命が比較的短い。

図表 2-1-3-11 各区の平均寿命（男）



※平成 27 年時点 資料：厚生労働省「生命表」

図表 2-1-3-12 各区の平均寿命（女）



※平成 27 年時点 資料：厚生労働省「生命表」

図表 2-1-3-13
各区の平均寿命（平成 27 年）

（歳）

順位	男		女	
1	天王寺区	81.0	北区	87.0
2	北区	80.4	阿倍野区	86.9
3	阿倍野区	80.4	住吉区	86.9
4	中央区	80.4	都島区	86.8
5	福島区	80.2	天王寺区	86.7
6	西区	79.9	住之江区	86.6
7	鶴見区	79.7	西区	86.5
8	住吉区	79.6	城東区	86.5
9	淀川区	79.6	東淀川区	86.5
10	東成区	79.6	生野区	86.5
11	城東区	79.5	福島区	86.4
12	旭区	79.4	淀川区	86.4
13	住之江区	79.2	東住吉区	86.4
14	此花区	79.2	鶴見区	86.3
15	都島区	79.0	旭区	86.3
16	東淀川区	79.0	中央区	86.2
17	生野区	78.9	港区	86.2
18	西淀川区	78.6	西淀川区	86.0
19	平野区	78.6	東成区	85.9
20	港区	78.5	此花区	85.8
21	東住吉区	78.3	大正区	85.7
22	大正区	78.2	平野区	85.4
23	浪速区	77.5	浪速区	85.3
24	西成区	73.5	西成区	84.4

資料:厚生労働省「生命表」